

わたしたちは、予防医学を通じて人々の「生涯健康」、「健康寿命の延伸」をめざし、健康と福祉の向上に努めることにより、社会に貢献してまいります。

# よぼう医学

THE NEWS OF HEALTH SERVICE

(公財)東京都予防医学協会  
 予防医学事業中央会東京都支部  
 発行人 北川照男・編集人 山内邦昭

発行所 〒162-8402  
 東京都新宿区市谷砂土原町1-2  
 保健会館 電話 03-3269-1131

http://www.yobouigaku-tokyo.or.jp

毎月15日発行

## 子宮頸がん予防の今

### 20代、30代の発症が急増中 検診とワクチンが対策の鍵

「高齢者の病気」と言われるがん。しかし、子宮頸がんの発症率は30代後半から40代前半にかけてピークがあり、20代の発症も少なくない。このような現状を踏まえ、国は20歳以上の女性を対象に、2年に1回の子宮頸がん検診の受診を呼びかけている。2009年に若い世代を対象にした無料クーポン券による子宮頸がん検診がスタートし、受診率は延びてきているものの、全体の受診率は依然30%程度と低く、国が目標としている50%にはほど遠い状況だ。今日は本会の検診実績を基に、子宮頸がん検診を取り巻く現状について報告する。

「女性特有のがん検診推進事業（現在は「がん検診推進事業」）では、無料クーポン券による子宮頸がん検診（クーポン検診）の受診対象を、20歳、25歳、30歳、35歳、40歳に設定し、若い世代の検診受診を奨励している。本会が08年度以降に行った子宮頸がん検診の年齢階層別受診者数の内訳をみると、クーポン検診対象年齢を含む若い年齢階層の受診者数が急増していることが確認できる。2009年度に始めた

わが国では、年間約1万6千人が子宮頸がんを発症し、約3500人が命を落としている。子宮頸がんの発症数は全体的には横ばい状態だが、20代、30代に限っては急増して

おり、この世代の発症率では乳がんを上回っている。しかし、子宮頸がんは検診で早期に発見し、適切な治療につなげることで救命できるがんでもある。国が2009年度に始めた

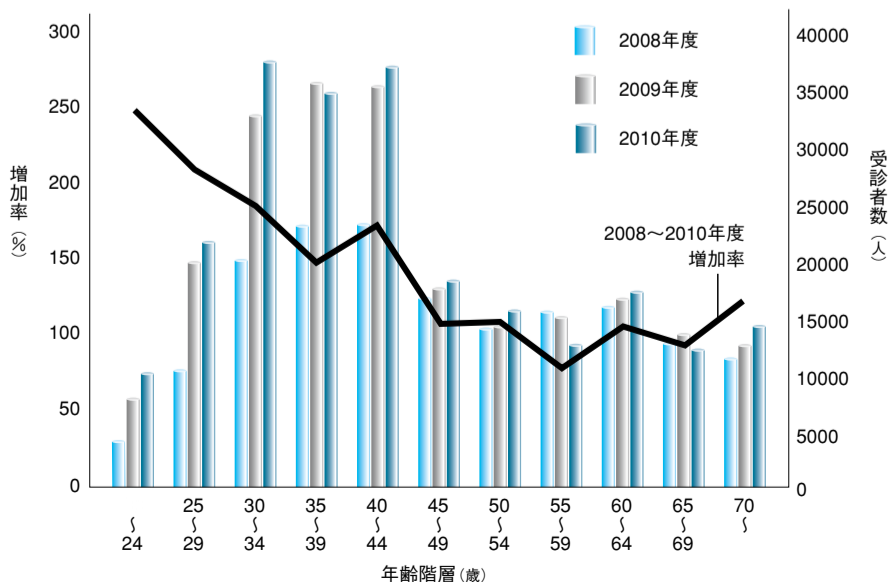
化がみられなかった。また、増加率も、24歳以下を筆頭に若い階層で高かった(図)。本会だけでなく、全国的にもほぼ同様の傾向がみられるよう、がん発症率の高い世代の受診率を向上させたことは、クーポン検診の一定の成果と言えそうだ。

本会の木口一成検査研究センター長は、クーポン検診の成果を認めた上で、「子宮頸がん検診は2年に1度受診することが大切。これを機会に継続的な検診受診につなげて

とほできない。子宮頸がん検診では、死亡率減少効果があるとして従来から細胞診が行われている。これに加え、近年では、HPVの有無とその種類を特定するHPV遺伝子検査(HPV検査)が登場し、注目されている。

また、この2つの検査の併用検診も試験的に行われており、「細胞診とHPV検査が共に陰性であれば、検診間隔を3年に延ばすことが可能」との報告もある。

図 本会の子宮頸がん検診の年齢階層別受診者数と増加率



#### ● 今月の主な紙面 ●

- (1面) ● 子宮頸がん予防の今
- (2・3面(見開き))
  - 連載 備えあれば憂いなし 第10回
  - 話題 加齢に伴う目の疾患 白内障と緑内障
  - 新連載 健康づくり・健康増進を支援するページ 働くシニア! 応援シリーズ 第1回:保健師/管理栄養士/健康運動指導士のコラム
- (4面) ● 新生児マス・スクリーニングに 新たにタンデムマス検査が導入
  - 新刊紹介 『学校における思春期やせ症への対応マニュアル』
  - 新連載 予防医学相談室より 第1回
  - お知らせ



「子宮の日」に合わせ啓発活動を行う本会の細胞検査士

も広がっている。子宮頸がんを考える市民の会では、4月9日を「子宮頸がんを予防する日」、子宮の「日」と提唱し、啓発活動に取り組んでいる。今年も同会の呼びかけにより、4月9日を中心

このうち、日本細胞診断学推進協会・細胞検査士会が主催する「2012年春LOVE49 全国街頭予防・啓発アクション」には、本会の細胞検査士も参加。「子宮の日」前日の日曜日、買い物客で賑わう東京・池袋駅周辺で、啓発用パンフレットを配布するなどの活動を行った。子宮頸がん予防に関するさまざまな情報が、速やかに受診者に届くことにより病気に

## 健康管理相談をお引き受けします

当センターの会員が事業所、学校、各種団体の健康管理をアドバイスいたします。

担当: 江崎良晴 三輪祐一

お問い合わせ・  
 ご相談は事務局まで  
 (予約制)

健康管理コンサルタントセンター  
 事務局 東京都新宿区市谷砂土原町1-2  
 (公財)東京都予防医学協会  
 電話 03-3269-1141







